

## H7 街区建設計画説明会

去る 6/15 (日)、企業庁と千葉市教育委員会は合同で「H7 街区建設計画住民説明会」をベイタウン・コアホールで開催した。H7 街区建設計画については本紙 131 号でも説明会の開催を求めているが、今回の説明会は H7 番街予定地に隣接するパティオス・アバンセ自治会が企業庁に説明会の開催を求め、交渉した結果実現した。

説明会で問題となったことや今後の見通しについてはこの説明会開催に尽力した吉峯さん(アバンセ自治会長)による「H7 街区建設計画にかかわる住民説明会」レポートを掲載しているのでそちらをお読みいただくとし、ここでは説明会の模様を報告したい。

説明会は日曜日の午後 6:00 という時間帯にもかかわらず、非常に多くの住民が参加した。当初は 100 席ほどの椅子が用意されていたが、この問題に対する関心は高く、6:00 の開会時には椅子が足りなくなり、50 席ほどが追加されたが、それもすぐに満席になった。

実は今回の説明会の開催が一般に公示されたのは 6/8 (月) の午前中。それも H7 街区予定地に隣接する番街の掲示板に A4 サイズで小さく掲示されただけだった。説明会にはベイタウンの中学校建設計画問題も関連するだけに近隣番街だけに知らせるという行政側

の対応には大きな疑問が残る。実際会議でも「意図的に参加者を少なくし、説明会開催の既成事実だけを作ろうとしているのではないか」という厳しい質問がされていた。

今回の説明会は参加者数でも最近の同様の会議では異例の多さだったが、若い人が多く参加していたという点でも注目された。近隣の番街に新しい街区が多く、若い方が多いのは当然であるが、ご夫婦、あるいはベビーカーを押して参加された方が多く見られたのには驚いた。それだけこの問題が切実なものだったのだろう。

会議の内容も非常に活発で、画期的でさえあった。今回の説明会に企業庁からは 3 名、千葉市および市教委からは 4 名の担当者が出席したが、彼らに対して出された質問は非常に論理的で的をのべていた。ともすれば感情的な発言で「ガス抜き」に終わることが多いこの種の会議だが、今回は次回につなげる

という点でも有意義だった。

過去 10 年間ベイタウンニュースは同様の会議を何度も取材してきたが、今回の会議はベイタウン街開きの頃、住民が持っていたエネルギーとインテリジェンスを彷彿させた。今回の H7 街区建設計画と中学校予定地の変更問題は非常に難しい問題である。しかし、こういう問題への対応がベイタウン住民の市民意識を育て、街の文化を作っていくことは間違いないだろう。

**次ページに説明会の詳しい内容を記した吉峯さんの報告文を掲載しました。**



## プール開放中止!

プール開放が今年から中止になった。千葉市教育委員会は去る 4/11、学校開放で毎年プール開放のボランティア活動を行ってきた鎌田さん(4 番街)にプール開放の中止を文書で連絡してきた。理由は、一昨年のおふじみの市での死亡事故をきっかけに検討してきたプール開放時の安全性の確保について、予算が確保できないために中止というものだ。プール開放中止の理由にまで「予算」を持ち出す市教委の論理には意見があるが、それはさておき、ここでは 10 年間つづいたベイタウンのプール開放を振り返ってみたい。

ベイタウンでのプール開放は 1999 年夏、打瀬小学校アリーナ屋上のプールで始まった。千葉市教育委員会から鎌田さんに要請があり、街の有志がボランティア的に協力することで実現したものだ。以来 10 年間、最初の 4 回は打瀬小の、そして海浜打瀬小が開校してからは同校屋上のプールで 6 回のプール開放を行った。

近隣に公営プールのない打瀬の子どもたちにとって、夏休みのプール開放はとても楽し

みだっただろう。自宅から水着のままプールに行く手軽さもあり、プール開放は年々その参加者を増やし、2005 年の夏には延べ 1915 人も子どもが参加した。学校の授業では泳げなかった子どもが、お父さんと一緒に通ったプール開放で泳げるようになったことも

あった。これまで 10 回のプール開放に参加した子どもの延べ人数は 8642 人。監視員としてボランティアでこの開放を支えた大人は延べ 209 人にもなる。鎌田さんをはじめ、皆さんご苦労様でした。



プール開放初期の頃(1999 年)の記念写真。場所は打瀬小学校アリーナ屋上のプール。この写真に写っている子どもたちはもう大学生や社会人になっている。



## H7 街区建設計画にかかわる住民説明会を終えて

一般、パティオスアバンセ自治会から企業庁に対して申し入れていた幕張ベイトウン H7 街区における建設計画等についての住民説明会が 6 月 16 日（日）午後 6 時から 8 時までコアホールにて開催された。企業庁からは地域整備部幕張新都心整備課住宅地区建設室矢吹室長、千葉市からは企画調整局政策調整課大堀主幹、千葉市教育委員会からは教育総務部企画課三橋主査が出席し、ベイトウン土地利用計画（第 2 中学校用地）の変遷、H7 街区建設計画及びベイトウンにおける中学校建設について以下の概要説明があった。①平成 2 年 事業計画では H7 街区は中学校予定地として策定。②平成 13 年 3 月 事業計画の変更が行われ、H7 街区がリザーブ用地に変更された。③平成 15 年 1 月 中学校予定地が解消された。④平成 19 年 2 月 事業計画の事業化実施方針の変更が決定され、未利用地（リザーブ用地）が高層住宅街区としてマンション建設予定地になった。これを受けて住宅事業者の募集を開始した。⑤平成 20 年 1 月 住宅事業者決定。（丸紅・三菱地所グループ）⑥平成 20 年 3 月 ベイトウン住民に対して未利用地の活用計画を告知する企業庁発信文書（掲示用）を各街区に配布。住宅 500 戸程度（うち高齢者向け 50 戸程度）高齢者対応施設、商業業務施設等。⑦建設計画案は確定しておらずデザイン計画会議で承

認を得ていない。⑧中学校は打瀬中学校を増築して対応。

企業庁が強調しているのは、他に類をみない事業推進体制のもと幕張ベイトウン街づくりのルールにのっとり住宅デザインガイドラインにそって街づくりの整備を進め、なおかつ社会経済情勢の変化に対応してきたということである。

これに対し住民側から出された意見と質問は以下の通り。①中学校予定地が解消された時、住民に何の説明、通知もされていない。②中学校予定地を確保した時点、解消した時点、今回の建設計画を立案した時点での作成予測データの開示を求める（教育委員会：後日対応する）。③中学校予定地であったリザーブ用地が、住民に何の説明もなく高層マンション建設予定地に変更することは許されないし、あってはならない。しかも住宅事業者の募集をして 1 年後に住宅事業者が決定してから住民に通知するとは驚きである。④住民不在の事業推進体制ではないか。幕張ベイトウン街づくりは住民無視ではなく住民との信頼関係のうえに成り立つのではないか。⑤平成 19 年 2 月時点に戻し建設計画を白紙にすべきである（企業庁：持ち帰って報告する）。⑥住宅事業者を決定し住宅 500 戸の建設計画を策定中とのことであるが、今初めて説明を受けているので住宅事業者との契約締結を強行する

べきでない（企業庁：まだ契約していない）。⑦一方的な説明ではなく質問に回答できる責任者が出席して再度説明会を開催すべきである（企業庁：持ち帰って報告し 6 月末日までに回答する）。

住民側からは 1 回の説明会開催では不十分であり、時間を改め、再度今回の質問に対する回答を含めた説明会の開催を求める声が多く、アバンセ自治会と企業庁との交渉の結果、再度説明会を 7 月下旬から 8 月上旬にかけて開催する旨の回答が企業庁よりあった。

**【投稿アバンセ自治会長：吉峯】**

今回の説明会では近隣街区をはじめ多くの方々の参加をいただきました。説明会で話された点は以上のようなものでしたが、説明会後ご出席頂いた方々とお話した結果、次回の説明会に向けて住民側でも事前に問題点を整理して討論に臨むことになりました。ついては下記の予定で次回の説明会に向けた住民間の話し合いの場を設けたいと思いますので、多数の方のご参加をお願いします。

話し合いにはどなたでも参加できます。直接 H7 街区の建設で影響を受ける番街以外からのご参加も歓迎します。また H7 街区予定地近隣の自治会、管理組合の方々にはぜひ参加をお願いします。

**H7 街区建設計画について考える住民討論会**

日時：平成 20 年 7 月 13 日（日）

午後 6:00 ～

場所：幕張ベイトウン・コア ホール

## 打瀬中アラカルト (5) ～女子バレーボール部編～

メグのバックアタックが韓国チームのコートに突き刺さり、全日本女子バレーボールチームが北京への切符をモノにした。ついで男子も 16 年ぶりのオリンピック。植田監督がコートに突っ伏した光景にウルウルきた御仁も多かったのでは。

そんな感動を目指して、本校の女子バレーボール部も日夜練習に励んでいる。

時は 5 月 30 日。「大賀ハス CUP」（注：1951 年東大検見川グラウンドで大賀博士と花園中生徒が約 2000 年前の古ハス実一粒を発掘し 1953 年に開花。世界最古の花として有名）という大会で、我がチームは堂々の準優勝を果たしたのだ。

（ここから「♪ジュピター」がバックミュージックで流れる）。

対若松中戦、決勝だった。我がチームはこれまで勝ち続け、気分はノッていた。相手は予想外だったらしくごちなかった。しかし地力に勝る相手チームは得点を重ね、気が付くと 13 対 24 のマッチポイントとなった。ここから劣勢をはね除けるように森田果帆のフローターサーブが炸裂した。彼女は気持ちを強く持って打ち込んだ。不思議な気持ちだった。打ったら決まる気がした。相手の必死のレシーブもチャンスボールに戻ってきた。栗原恵はただひたすら正確なトスを上げ続けた。誰もが打ちやすいと感じた。少しずつ流れがこちらに向いてきた。菊池希美の速攻が決まった。みんなで肩をたたき合って喜んだ。監督

の風間政章教諭は澄んだ眼でこの光景を見た。チームの気持ちが一つになったと思った。古川健志コーチの激励が飛んだ。紫陽花がヒラリと色を変えるように清水遥香の眼の色が変わった。必死でレシーブした。エースの渡辺愛と渡辺瑤子のスパイクが決まった。まるでジュン・サンダース（范文雀）の X 攻撃のようだった（古い！）。23 対 24 まで追上げた。しかし…ゲームセット。大賀ハスも涙をのんだ。（ここで♪バックミュージックは終わる）。



青木教頭先生からは「梅雨を吹きとばす大笑い・にこやか・さわやかな元気印の写真を」と頼まれ撮影に臨んだ結果はこのとおり。こちらから注文をつけるまでもなく、彼女たちは「にこやか・さわやかな元気印」集団だった。

本年度は、中・高・大と 10 年間レギュラーだった鶴野聖子教諭を新たに加え、風間教諭、古川教諭の 3 人顧問体制が確立された。加えて、千葉市バレーボール専門部総務委員長の正路要教諭と穴倉正巳教諭が転入し、男子バレーボール部を創設した。穴倉教諭は今でこそ横に大きくなってしまったが（失礼！）、学生時代日本一となり、日本代表として海外で大活躍した有名選手である。充実したスタッフのもと、今後の男女バレーボール部に期待ができる。

**【打瀬中学校教頭 青木一】**

# ベイタウンの野鳥 セキレイの子育て奮戦記(1)

6月初旬の朝、バスルームに入って見て驚いた。なんと窓のガラス戸と内側の網戸の間に鳥の巣らしきものがあるではないか。湿気防止のためにガラス戸を少し開けておいたのだが、その間に作っただろう。巣の様子はまだ木の枝を集めて積み重ねた程度で完成はしていないようだ。何の鳥だろう。ベイタウンにはいろいろの野鳥がいるが、人家の窓に巣を作ったりするのはスズメか、ハトか。いずれにしても洗面所にも近く、人の気配がすればすぐ逃げ去るだろうと思っていたのだが、どうしてどうして、巣の主は人慣れしているようでかまわず巣作りをつづけ、2、3日すると完成してしまった。

これは困った。こんなものができるとうっくり風呂にも入れない。しかし苦勞して作った巣を壊すのもかわいそう。そんなことを考えている間に6/12の未明、卵が2個あるのを発見した。仕方がない。野鳥の子育てを観察できるのもいい機会だし、もしかすると「幸福の鳥」かもしれない。家族と話し合っ、しばらく居候を認めることにした。

それにしても凶々しく家の窓に巣を作ったこの鳥は何だろう。そう思ってドアの陰から見てみると、ついに巣の主が現れた。小さな頭、長く伸びた尾羽。「セキレイ」だ。ベイタウン

にセキレイが多いことは知っていたが、人家の窓に巣をかけるとは知らなかった。そうか、セキレイは梅雨の頃が子育てだった。これから抱卵がはじまるのかと思って期待して見ていたら、意外にもセキレイは昼間も適当に出歩き、巣に戻るの2、3時間程度。さすがに夜は帰ってくるだろうと思っていたが、これもハズレ。夜になっても戻って来なかった。

人の気配がするので巣を捨てたのかと思っていたが、しばらくすると帰ってきて卵を抱き始めた。ときどき覗いて見るのだが、人に見られてもあまり気にする様子はない。さっきは洗面所で電気をつけ、電気カミソリでガーガーとひげを剃ったが、それでも逃げる様子はなかった。夜はいついどこに行くのだろう。卵は1日2、3時間程度の抱卵でうまくヒナが生まれるのだろうかと思いが尽きない。

ちょうどベイタウンニュースにいい記事ネタがなかったところだ。早速セキレイの子育て日記を書くことにしよう。巣立ちまで続けば2、3回はつなげるかもしれない。そう思って観察を続けることにした。

卵を2個見つけた翌朝、巣を覗いておどろいた。卵が1個増えている。夜は帰って来ていないので、明け方に巣に帰って産んだよう



だ。一度に産むのではなく、すこしずつ産むのか。セキレイはそうやって次の日にも1個と1日1個のペースで卵を産み、合計4日間で5個の卵を産んだ。

卵を5個産むと、さすがに抱卵する時間も長くなってきた。夜は相変わらず出かけて(あるいは帰って来ず) 昼間だけの抱卵だったが、外に餌を食べに行く間を除いてほとんどの時間巣にいるようになり、しばらくすると夜も巣で卵を抱いて眠るようになった。この記事を書いている5/25現在はこのような生活状況だ。

さて、この野鳥は人間の生活と共存し、無事ヒナを巣立たせることができるのだろうか。次回の子育て日記をお楽しみに。

## 夏休みラジオ体操のお知らせ

今年も恒例の「ベイタウン夏休みラジオ体操」を下記の予定で行います。みんな来てね。

期間と場所

7/22～7/31(日曜日を除く) 美浜打瀬小学校校庭

8/21～8/30(日曜日を除く) 打瀬小学校校庭

時間：午前6:30～6:40

ラジオ体操は昨年より3つの小学校で会場を期間ごとに交代して行うことにしました。今年は前半が美浜打瀬小学校で、後半が久しぶりに打瀬小学校の校庭です。間違えないように、気をつけて参加しましょう。

## ラジオ体操小学生リーダー

一昨年から始まった小学校6年生によるラジオ体操リーダー。

今年も各小学校から5人程度、合計15人ほどが集まりました。リーダーたちは7/5、7/12、7/19の土曜日の朝、6:15から美浜打瀬小学校ピロティーで練習をして本番に臨みます。



## 身体障害者野球大会開催のお知らせ

日時：9月23日(祝日) 8:30入場

場所：千葉マリスタジアム

入場無料

ご理解とご協力をお願いします。個人でご協力の場合、水島新司先生デザインのオリジナルTシャツがもらえる一口3000円の協力方法があります。

主催：NPO法人身体障害者野球を応援する会

問い合わせ：TEL 090-2930-2367

## 7月のコア・イベント

7/13  
(日)

黒川侑ヴァイオリン・リサイタル  
時間：14:30開場 15:00開演  
場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

7/19  
(土)

わくわくおはなし会 7月の常設おはなし会  
時間：10:30～  
場所：ベイタウン・コア 講習室(途中入場もできます)

年齢制限なし。予約は必要ありません、みんなで来てね。  
今月も、楽しい絵本やゲームを用意しています。  
おとうさん、おかあさんも、ぜひ一緒にどうぞ。

7/26  
(土)

寺子屋工作ランド  
「セミしぐれ」(よく鳴くセミをつくります)

時間：9:30～

場所：ベイタウン・コア 工芸室

持ってくるもの：カッターナイフ、木工ボンド、はさみ、鉛筆、参加費：50円(保険料)

7/27  
(日)

第64回ファツィオリの会

時間：9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

月に一度、コアにあるフルコンサートピアノ「ファツィオリ」を弾くことができます。ピアノ以外の楽器でも歌

でも大歓迎です。ご希望で非公開も受け付けています。どうぞお申し込み下さい。

申し込み締め切り：7月20日(日)

連絡先：大垣 TEL & FAX 276-3878 ymogaki@k4.dion.ne.jp

いっぱいになり次第締め切らせて頂きます。お早めどうぞ